

## 第 11 回 建物・構築物検討会 議事録

1. 開催日時：平成 19 年 6 月 27 日（水）14：00～16：30

2. 開催場所：日本電気協会 4 階 D 会議室

3. 出席者：（順不同，敬称略）

- 委員：久保主査（東京大学），土方幹事（東京電力），高下（中国電力），清水（大林組），船本（九州電力），野口（電源開発），遠藤（東北電力），星野（中部電力），藤井（北陸電力），伏見（関西電力），平子（日立），阿部（日本原子力発電），福島（鹿島建設），小川（清水建設），森山（大成建設），吉賀（三菱重工）  
（計 16 名）
- 代理出席：小柳（東京電力・竹内代理），羽田野（東芝・中島代理），松本（四国電力・細川代理），石崎（竹中工務店・大宮代理），  
（計 4 名）
- 常時参加：土井（新潟大学）  
（計 1 名）
- オブザーバ：菊地（東電設計），貴井・徳光（東京電力），兼近（鹿島），花田（日本原子力技術協会）  
（計 5 名）
- 事務局：荒木（日本電気協会）  
（計 1 名）

4. 配布資料

資料 No.11-1 第 10 回 建物・構築物検討会議事録（案）

資料 No.11-2 JEAC4601 6 章 建物・構築物の耐震設計（案）

資料 No.11-3 JEAG4618 鋼板コンクリート構造耐震設計技術指針改定の進め方について(案)

5. 議事

(1) 出席者の確認及び前回議事録（案）の確認

事務局より、本日の代理出席者は 4 名であり、代理出席者については規約に基づき久保主査の承認を頂いた。また、代理出席を含む出席委員は 20 名であり、規約上、決議に際して求められる委員総数の 2 / 3 以上の出席であることが報告された。

また、事務局より前回議事録（案）の紹介を行い、出席者全員の賛成で了承された。

(2) JEAG4601 建物・構築物の耐震設計（案）改訂案の審議

資料 No.11-2 により、コード化に対応させた建物・構築物の耐震設計（案）改訂案の説明が行われ審議した。

本日のコメントをふまえ改訂案を見直すともに、各委員で再確認しコメントがあれば 7 / 20 までに連絡してもらうこととし、これらをふまえ耐震設計分科会に諮ることについて、出席者全員の賛成で了承された。

主なコメントを以下に示す。

- ・ 6.1.4.1 基本的な方針で Sd が出てくるが、同解説に Sd は、6.1.4.4 で定義される旨を追記のこと。
- ・ 6.2.1 材料の本文但し書きは、「建築基準法第 37 条 2 号による国土交通大臣認定材料

等の特別な材料を使用する場合は」に修文すること。

また、(3)鉄骨の品質・形状および寸法で、JSMEの規格は、一部機器の取り合い等で使用する場合がありますことから記載している旨を解説に追加のこと。

- ・ 6.4.1 応力解析(3)aは、熱応力は、コンクリートのひび割れ等を考慮して部材の剛性を評価することにより算定するに修正のこと。
- ・ 6.5.2 地震応答解析に用いる地盤の物性値(3)減衰定数で、地震観測結果による値をそのまま使うのではなく、その値を参考として4.4地盤調査・試験により設定した値を変えることができる主旨に見直すこと。
- ・ 6.6.4 機能保持及び波及的影響防止の検討の解説に、Cクラスに関連する要求機能を記載する必要があるか検討のこと。
- ・ 附属書6.3 静的地震力の評価法の評価式と各係数は、耐震設計審査指針による旨を解説に追記のこと。

### (3) JEAG4618 鋼板コンクリート構造耐震設計技術指針改定の進め方について

資料 No.11-3 により、鋼板コンクリート構造耐震設計技術指針改定の進め方について、説明が行われた。

以上